

ホッピーだより

平成20年 2月 1日 (2008/ 2/ 1)

No. 279



むかわ町立穂別博物館
054-0211
北海道勇払郡むかわ町穂別80-6
0145-45-3141 (Tel & Fax)

クビナガリュウのホッピー

モサゴンのひみつ8

「モササウルスのうで（まえあし）」

写真は、穂別で見つかった「モササウルス・ホベツエンシス」の右前足（うで）です。 →

1～3のうち、手首はどこでしょう？（どこから先が、手？）＊自分の手と見比べて考えよう＊

人も、モササウルスも、骨の種類や並び方はほとんど同じです。A～Cの骨の名前は、

Aは、肩甲骨（けんこうこつ）：肩の骨。

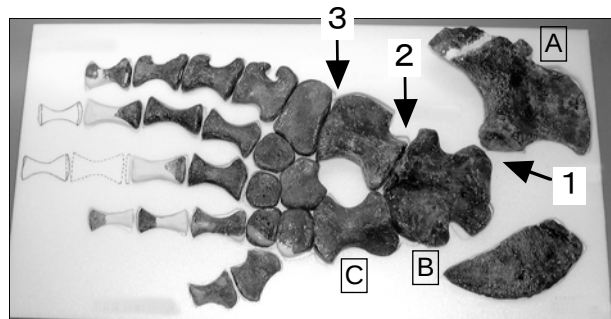
Bは、上腕骨（じょうわんこつ）：肩～ひじの骨。

Cは、橈骨（とうこつ）・尺骨（しゃっこつ）：ひじ～手首の骨。

よって、答えは、

1：肩、2：ひじ、3：手首（答えは、3） となります。

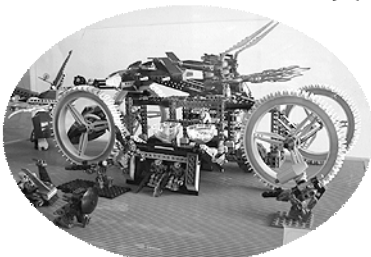
自分の腕と比べてみると、肩～手首がかなり短くなっています。かわりに、指は骨の数が増えて、長くなっています。さて、クビナガリュウは、どうでしょう？ （学芸員 桜井）



「私のお宝展」 好評開催中！[特別展示室（無料）にて]

おかげ様で今年もお宝が大集合してくれました。キッズコーナーあり、大人のコレクションコーナーあり、もちろん芸術の香り漂う美しいコーナーもございます。退屈はさせません。なかなか見ごたえがありますよ！

**2月11日まで開催しています。
お誘い合せて是非お越しください**



レゴです。ブロックです。
されどブロック、おそろべし



王監督・ヒルマン監督
サイングッズも！



これはナニ？これはチェロ



ウルトラマン、シュワッチ
これだけそろえば大人もうれしい



全国こども陶芸展入賞作品も、ズラリせいぞろい



本格的押し花コーナー
う、うつくしい

またまたクマさんのおはなし



【こちらは博物館にいるクマさん】

先月号でクマの足跡をご紹介しましたが、せっかくの機会ですので再度”クマ”を取り上げてみましょう。

ヒグマは北海道で、いいえ、国内でも最大の陸上ほ乳類です。山を歩いていてバッタリ会おうものなら・・・考えただけで恐ろしいですね。

「野生動物痕跡学辞典」によると、横幅15cm以上もしくは長さ23cm以上は、雄の成獣とされています。さて先月号の”主”について推理してみましよう。横幅が17cm、長さは26cmありました。ということは、彼は雄の成獣であり、体長は2m前後

体重は200kg前後と推測できます。なかなかいい体格の持ち主だった事は間違いありません。

しかし彼らは環境さえ整えば、もっともっと成長できるといいます。砂防ダムなどのため、サケやマスが遡上出来ず、結局山奥にいる彼らの口には入りづらくなってしまいました。アラスカでは500kg以上のヒグマも存在し、なんと1980年に羽幌（もちろん北海道のですよ）で、450kgのクマが射殺されているそうです。たしかにそんな大きなクマがいたら怖い、でもクマだってヒトが怖いのです。共存の道はどこにあるのか、ポイ捨てや食べ物を埋める事は絶対にしてはいけないと肝に銘じて、山に”おじゃま”したいものです。



前足

先月号の答え
正解は右の長い方が後ろ足
左の短い方が前足でした
後ろ足は横幅が17センチ 長さは
爪を除いて26センチもありました

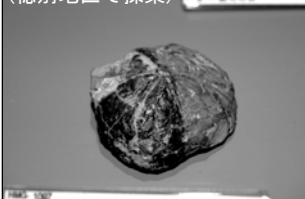
先月号の答え

後足



むかわの化石や生き物

(穂別地区で採集)



ウニ(化石)

ウニは、棘皮動物(きょくひどうぶつ)と呼ばれます。トゲ(棘)のある小さな板が集まってカラを作ります(ウニは、さらにその外側にもトゲがあります)。ヒトデ・ウミユリ・ナマコなどが同じ仲間です。棘皮動物は、約5億年前に誕生し、しばらくの間、大繁栄しました。

2008年2月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	

2月のこよみ

2/4, 18, 25は月曜日の休館
2/12, 13は祝日の振替休館

■: 休館日

この地球上に現在生きている生物は、500万種類とも1,000万種類とも言われています。それらは互いに似ているものが集められ、たくさんのグループにまとめられています。同じグループのものは、一見違っていても共通点があります(さ)